第６号様式の９（第８条関係）

記入例

監護相当・生計費の負担についての確認書

大学生年代の子を養育している場合に提出が必要です。認定請求書・額改定認定請求書ともに児童の兄姉等の「監護相当の有無」及び「生計負担の有無」がいずれも「有」で、児童の兄姉等と児童の合計人数が3人以上の場合に限り、同居・別居にかかわらず提出してください。

会津若松市長　あて

私は、以下に記載する者（注）について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をし、かつ、その生計費を負担していること（以下「監護相当・生計費の負担」という。）を下記のとおり申し立てます。
申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

注　18歳に達する日以後の最初の３月31日を経過した後から22歳に達する日以後の最初の３月31日までの間にある者のうち、施設等に入所等している者でないもの（詳細は裏面を参照）

記

	ふりがな 氏名	生年月日	性別	住所
1	わかまつ　やえ 若松　八重	平成・令和　15 年 3 月 4 日	男・女	会津若松市東栄町3番46号
2	わかまつ　じょう 若松　城	平成・令和　17 年 4 月 5 日	男・女	福島市●●町12-3
3		平成・令和　　年　月　日	男・女	

	個人番号	続柄	職業等（いずれかに○）※	通学先（学生の場合のみ）	卒業予定時期（学生の場合のみ）	申立人による監護相当の状況（いずれかに○）	申立人による生計費の負担の状況（該当するものすべてに○）
1	2222222222222	子	学生・無職・その他		令和　年　月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（　）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（　）
2	3333333333333	子	学生・無職・その他	●●大学	令和 10 年 3 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（　）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（　）
3			学生・無職・その他		令和　年　月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（　）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（　）

大学や専門学校等に通学している子については卒業予定時期の記入が必要です。

※　学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和　6　年　10　月　1　日

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)
住所　会津若松市　東栄町3番46号
氏名　若松　太郎

子が就職・婚姻等をしていたり、父母等と別居している場合であっても、父母等が子に対し監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をしており、生計費の相当部分の負担をしている場合には多子加算の対象となります。ただし、子が父母等から独立して生計を営んでいると想定される際には、申し立てが真正であることを証明するための書類として、申し立てに係る子の生計費の負担の状況が分かる送金記録の写し、子が居住している住所地の物件に係る賃貸契約書の写し、子の健康保険証の写しなどの提出を求める場合があります。

◎　裏面の注意をよく読んでから記入してください。